

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年8月28日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 監察案件について

2 報告事項

- (1) 警察署協議会の開催状況及びこれまでの委員の提言に基づく主な取組状況について（令和元年度第1・四半期）

県警察から、警察署協議会の開催状況及びこれまでの委員の提言に基づく主な取組状況に関する報告があった。

平成31年4月から令和元年6月末までの間、全14警察署において警察署協議会が開催され、「警察活動の基盤強化」、「被害者支援の推進方策」、「特殊詐欺対策の推進」、「交通事故抑止対策」などの諮問に対し、協議が行われた。

また、警察署では、警察署協議会委員の提言に基づき、高齢者対策、被害者支援活動、子供の安全対策、高齢者の交通事故防止対策、大規模災害対策などの各種施策を推進した。

このほか、秋田県警察逮捕術大会の見学、警察署における総合術科訓練の見学、「命の大切さ学習教室」の聴講など、各警察署協議会において活発な活動を実施している旨の報告があった。

委員から、『会議だけでなく、視察や体験など警察の仕事を理解する取組もされており大変良い。今後も一層活発に活動していただきたい。』『各署の取組を共有し、他署でも取り入れるなど参考にしていきたい。』との発言があった。

- (2) 令和元年7月中の警察安全相談受理状況について

県警察から、令和元年7月中の警察安全相談受理状況に関する報告があった。

7月中の警察安全相談受理件数は1,994件と、前月より117件(6.2%)増加した。

相談内容は警察活動全般にわたっており、生活安全部門に関する相談が1,193件と最も多く、次いで刑事部門に関する相談が524件であった。

特殊詐欺に関する相談件数は357件と、前月より71件増加した。

7月中旬に相談を端緒に事件化した事案は2件であった。

委員から、『非常に多いのが振り込め詐欺などの相談であり、それだけ県民の声が警察に上がっているということ。相談者に対しては、適切、的確、丁寧に対応をお願いします。』との発言があった。

(3) 令和元年秋田県議会第3回定例会（9月議会）に提出予定の議案について

県警察から、令和元年秋田県議会第3回定例会（9月議会）に提出予定の令和元年度9月補正予算案に関する報告があった。

委員から、『必要なところに重点的に予算を執行するようお願いする。』との発言があった。

(4) 令和元年秋田県議会第3回定例会（9月議会）提出の議案等について

県警察から、令和元年秋田県議会第3回定例会（9月議会）提出の交通事故に係る和解議案等に関する報告があった

委員から、『軽微な事故が多いようであるが、大きな事故につながらないように、注意していただきたい。』との発言があった。

(5) 令和元年夏の交通安全運動の実施結果について

県警察から、令和元年夏の交通安全運動の実施結果に関する報告があった。

8月1日から8月10日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とした令和元年夏の交通安全運動が実施され、各警察署等において、関係機関・団体等と連携し、各種行事、キャンペーンを実施した。

運動期間中の交通事故発生状況は、発生件数49件、死者数1人、負傷者数57人で、前年同期に比べ、発生件数は11件減少、死者数は増減なし、負傷者数は18人減少した旨の報告があった。

委員から、『事故防止のために、各署で様々な行事を行っている。秋の交通安全運動も引き続き交通事故防止の取組をお願いします。』『手で合図し合う運動』は非常に有効であり、見えるコミュニケーションが大事である。』との発言があった。

(6) 令和元年度秋田県総合防災訓練への参加について

県警察から、令和元年度秋田県総合防災訓練への参加に関する報告があった。

令和元年9月1日(日)、男鹿市、大潟村において、令和元年度秋田県総合防災訓練が実施され、県警察も参加する旨の報告があった。

委員から、『実りある訓練になるよう願っている。』との発言があった。